



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月12日

上場会社名 ソフトマックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3671 URL <https://www.s-max.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）萩原 千恵子
問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部担当部長（氏名）中島 正弘（TEL）(099) 226-1222
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第1四半期の業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第1四半期	1,346	49.4	245	—	256	—	176	—
2024年12月期第1四半期	901	△18.2	5	△95.4	17	△87.1	10	△88.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	29.40	—
2024年12月期第1四半期	1.75	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第1四半期	6,833	3,513	51.4
2024年12月期	7,535	3,517	46.7

（参考）自己資本 2025年12月期第1四半期 3,513百万円 2024年12月期 3,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		0.00	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	3,096	32.9	250	37.5	274	34.0	183	31.8	30.60
通期	6,201	14.2	670	1.1	717	2.3	480	0.1	80.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年12月期 1 Q	5,999,364株	2024年12月期	5,999,364株
2025年12月期 1 Q	407株	2024年12月期	357株
2025年12月期 1 Q	5,998,992株	2024年12月期 1 Q	5,999,007株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページに記載した「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナや中東地域をめぐる国際情勢不安、物価上昇および米国の通商政策動向などの課題に直面しており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社が事業展開している医療機関におきましても、高齢化の進展による医療需要の拡大は見込まれるものの、より質の高い医療の提供、医療従事者の人材確保、賃金上昇など、重要な課題に直面しており、経営環境においてはコストの見直しや生産性の向上など、様々な判断が求められる状況です。

このような環境下において、喫緊の課題として医療サービスの質の向上と効率的な医療提供体制の構築が挙げられ、いわゆる「骨太方針2024」におきましても政府を挙げて「全国医療情報プラットフォーム」の構築などの医療DXを推し進める方針が改めて示されております。その中核を担う電子カルテシステム等の医療情報システム需要は引き続き強く、当社が事業を展開するにあたって、大きな追い風となっております。

当社が長年培ってきたクラウド技術は自然災害による患者情報の消失リスクの回避や、昨今多発しているサイバー攻撃に対する有効な防御策としてより一層重要性が増しております。また、研究を進めている生成AIなどの最新テクノロジーは、医療現場の業務効率アップに貢献することが期待されています。

このような状況の下、当社は主力製品であるWEB型電子カルテシステムを新規顧客へデータセンターを利用したパブリッククラウドおよびグループ病院へのプライベートクラウド(※)の提供により、競争の厳しさを増す市場において独自性を示し、更に既存顧客のリプレイス需要の取り込みに注力しております。それに加え医療DX関連のシステムの開発、販売、導入及び保守を継続してまいりました。また、開発・技術部門におきましては、顧客のニーズに沿ったシステム機能の充実と信頼性の向上という方針を継続するとともに、他社との連携を充実することで、先進的なテクノロジーを使った医療プロジェクトを強化し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,346,652千円(前年同四半期比49.4%増)、営業利益245,722千円(前年同四半期比4,316.9%増)、経常利益256,300千円(前年同四半期比1,393.1%増)、四半期純利益176,381千円(前年同四半期比1,583.7%増)となり、前年同四半期比で増収増益となりました。増収増益の理由は、新規導入案件や既存顧客のリプレイス需要が顕著に増加しているためです。また、受注高は1,190,266千円(前年同四半期比17.4%減)となりましたが、当第1四半期累計期間における売上・受注は計画通り推移しております。

(※) パブリッククラウド：外部のデータセンターを利用して電子カルテ等を使用すること

プライベートクラウド：グループ病院内の病院や診療所等のワンサーバーでのクラウド環境で電子カルテ等を使用すること

なお、セグメント別の業績につきましては、システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりますが、受注実績及び販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

①受注実績

種類別	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア	767,126	71.4%	2,669,190	130.4%
ハードウェア	423,139	115.5%	1,069,038	130.6%
合計	1,190,266	82.6%	3,738,228	130.5%

②販売実績

種類別	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	前年同四半期比(%)
	販売高(千円)	
ソフトウェア	631,919	195.5%
ハードウェア	274,566	143.9%
保守サービス等	440,166	113.6%
合計	1,346,652	149.4%

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ、流動資産が723,386千円減少、固定資産が20,905千円増加した結果、702,480千円減少し、6,833,136千円となりました。流動資産の減少は、主に仕掛品が424,276千円増加したものの、現金及び預金が1,001,319千円、売掛金が116,212千円減少したことなどによるものです。一方、固定資産の増加は、無形固定資産が14,644千円、投資その他の資産が12,421千円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ、流動負債が702,846千円減少、固定負債が4,524千円増加した結果、698,322千円減少し、3,319,576千円となりました。流動負債の減少は、主に買掛金が282,799千円、賞与引当金が70,500千円増加したものの、支払手形が651,689千円、短期借入金が400,000千円減少したことなどによるものです。一方、固定負債の増加は、退職給付引当金が8,105千円増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ、4,157千円減少し、3,513,560千円となりました。その要因は、四半期純利益176,381千円の計上、配当による利益剰余金の減少179,970千円によるものです。なお、自己資本比率は51.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国の社会・経済活動は、米国通商政策の動向を発端とする世界経済の見通しの悪化により、不透明な状況になっております。一方で、医療業界におきましては、2023年には電子処方箋の運用、オンライン資格確認の本格運用が始まり、また、2025年度中には、電子カルテ情報共有サービスの本格稼働が見込まれるなど、医療情報利活用に向けた基盤整備の重要性が益々高まっています。当社は、医療IT企業として、国のデジタル化推進方針に基づく医療政策、各都道府県の掲げる地域医療構想に対応した医療のICT化、医療DXの推進を図ることにより、更なる医療への貢献を目指してまいります。

このような事業環境の下、当第1四半期累計期間においては、添付資料の2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当四半期累計期間の経営成績の概況」に記載のとおり、前年同四半期比で増収増益となりましたが、売上・受注は、ともに計画通り推移しております。2025年12月期第2四半期累計期間及び通期の業績につきましては、現時点において2025年2月13日に公表しました業績予想から据え置いております。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等は今後の業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,453,136	2,451,817
受取手形	301	-
売掛金	1,342,616	1,226,404
商品	227	227
仕掛品	702,038	1,126,315
貯蔵品	515	746
前払費用	77,779	87,328
その他	63,827	24,217
流動資産合計	5,640,442	4,917,056
固定資産		
有形固定資産		
土地	770,309	770,309
その他（純額）	303,802	297,643
有形固定資産合計	1,074,112	1,067,952
無形固定資産	30,045	44,690
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	555,138	553,102
その他	235,876	250,333
投資その他の資産合計	791,015	803,436
固定資産合計	1,895,173	1,916,079
資産合計	7,535,616	6,833,136
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,123,394	471,704
買掛金	501,675	784,475
短期借入金	1,250,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	17,520	17,520
未払法人税等	139,918	102,200
賞与引当金	-	70,500
その他	341,726	374,987
流動負債合計	3,374,234	2,671,388
固定負債		
長期借入金	144,540	140,160
退職給付引当金	323,001	331,106
役員退職慰労引当金	147,678	148,477
その他	28,443	28,443
固定負債合計	643,663	648,188
負債合計	4,017,898	3,319,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,250	442,250
資本剰余金	303,400	303,400
利益剰余金	2,774,498	2,770,909
自己株式	△293	△335
株主資本合計	3,519,856	3,516,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,138	△2,664
評価・換算差額等合計	△2,138	△2,664
純資産合計	3,517,717	3,513,560
負債純資産合計	7,535,616	6,833,136

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	901,648	1,346,652
売上原価	645,698	864,901
売上総利益	255,950	481,750
販売費及び一般管理費	250,386	236,028
営業利益	5,563	245,722
営業外収益		
受取利息	10	814
受取賃貸料	19,443	19,420
その他	729	59
営業外収益合計	20,183	20,294
営業外費用		
支払利息	1,125	1,613
賃貸費用	7,455	8,056
その他	-	45
営業外費用合計	8,580	9,715
経常利益	17,166	256,300
税引前四半期純利益	17,166	256,300
法人税、住民税及び事業税	26,141	94,885
法人税等調整額	△19,451	△14,965
法人税等合計	6,690	79,919
四半期純利益	10,475	176,381

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)及び当第1四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当社の事業は、システム事業の単一セグメントですので、記載は省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	8,730千円	11,702千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。